



# 生命尊重推進の会 天使のほほえみ

会報 第16号  
イラスト © あべまりあ

発行所  
NPO 法人 天使のほほえみ  
発行人 鎌田久子  
編集人 福島 紀

## 新春特別講演会・講演要旨①

### 墮胎天国日本の汚名返上を！

理事長 鎌田 久子

本日は、皆様と『奇跡の国・日本』の素晴らしさを共鳴しあい、誇らかに、美しい日本国家の発揚に勤めてまいりたいと思います。

日本は「皇紀二阡六百七十一年」を閲し、歴代陛下が百二十五代も続いている奇跡の国です。なぜこのように続いているのか、人為を越え天界から祝福されているとしか思えません。日本に生まれ、この会に参加された皆様は、魂の高い方々でいらつしやいます。

言霊は、不思議な魔法の力を持つています。

「敷島の和の国は言霊の咲き生う国ぞ まささくあれこそ」と柿本人麻呂が読んでいますが、「言葉には、霊力が具わつていて、幸せが咲き生えられ、増えていきますように」という

意味です。▼ 皆様、世界共通の言葉をご存知ですか？ 『微笑ほほえみ』表情のことです。『ある日天の使い』

生命尊重運動 に来りてほほえみ給う。微笑こそ万民の心の扉を開く鍵です。万国に幸運をもたらす鍵、まさに天使の「ほほえみ」の諸活動が、生命尊重運動を促進するのです。▼ 『一笑一若』(一回笑うと一歳若返る)。今年から、笑顔で中絶をやめてもらう「一笑、一若、一止」運動を展開して行きましょう。▼ 私たちは、言霊の光を内包する「発光体」となつて、唯物思想に汚染され、劣化していく日本に「浄化の光り」を降り注いでいきたくと思つております。▼ 子供は「子宮(子の宮)」に宿ります。黒住教祖を訪れた姑

が「うちの嫁に日が止まりました。」と。つまり子宮に日止の生命を授かった」と。それは、先祖からの生命をお宮にいただき、親子孫へと繋ぐ聖なる十ヶ月です。みんなで妊婦を守り、祝福し、悦びと感謝に満ちて出産を迎えて欲しいと切に思います。

中絶は、外国でも行われていますが、厳しい法を科せられているため、健康な胎児は随せません。来日して墮す女性は「墮胎天国日本」と言いますが、胎児にとっては『墮胎地獄日本』です。私は母性を有する同性の女性たちが、幼い生命を墮すという「殺人行為」を犯すことに耐えられません。どうぞ迷いが生じたら「天使のほほえみ」にご相談ください。必ず母子共に生きる道を啓かせて頂きます。

日本人は「天の益人(あめのますひと)」(優秀な生命がますます天降る国)と言われている人口増殖率の高い民族です。

ある講演会場で、識者の方が「日本は五本の指に入る人口密度の高い国だから、中絶による人口減少は、自然淘汰の一環と考えれば良いのでは」という主旨のご質問がありました。私は「天授の生命を人工中絶する」

とは、神の御心に反すること、優秀勤勉な日本人は大いに多産し、世界に雄飛して、各分野に於いて貢献すれば宜しいのでは」と即答致しました。

日本再生の三本柱は現憲法廃棄・自主憲法制定、母体保護法の改正、教育の正常化です。生命がけで、使命達成に励みます。

## ★総会の

### お知らせ★

「天使のほほえみ」年次総会、及び講演会を、五月二十八日(土曜日)午後に予定しております。詳細は別途会員の皆さまに案内状をお送り致します。

## お友達をお誘い下さい

年会費 個人 正会員 二千元以上  
賛助会員 五千元以上  
篤志会員 一万元以上  
法人 一口 五千元以上

郵便振替口座  
00100-6-316987  
天使のほほえみ

(住所変更の際は是非ご連絡下さい)

去る三月十一日発生した東北関東大震災は、わが国観測史上最悪といわれる大惨事となりました。ここに犠牲となられた方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された多数の皆さま方に心よりのお見舞いを申し上げます。

新春特別講演会・状況報告

満員の盛況、成功裏に終了

副理事長 野田 滋美

平成23年も明けて半月の15日に「天使のほほえみ」新春特別講演会を開催しました。

この日本の国体を護持する運動が現今の最大事項であり、私達天使のほほえみの幹部は、国家解体阻止の運動をまず第一にしつつも、私達の目標である生命尊重、母体保護法改正も同時に進めなければならないため、会報発行と講演会は実施して行くこうと講演会を開催して行く事にしました。

講師として、4月統一地方選挙の関係でお忙しい中ですが、日野市の古賀俊昭都議会議員殿にご講演をお願いしました。

1月15日午後、渋谷区幡ヶ谷社会教育館中学習室で、第一講話を古賀俊昭先生に、第二講話を鎌田当会理事長にお願いし、「美しい日本の再建」一領土、主権、国民一のテーマで、国家の生命と胎児の生命を守る講演をして頂き

ました。講演会の会場が最大48人の部屋で47人の方がご参加下さり、場内立錫の余地のない位満杯の盛況となりました。

古賀俊昭先生は、まず昭和56年に市議になって始めての議会質問で胎児の生命の大切さ、優生保護法の問題を共産党市長に質問されました。古賀先生は最初からこの運動をしてこられた事を知りました。そして、私達日本人はもつと日本人であるべきだとして、「日本人入門」の話しを熱く、「ポーツマスの旗」等

の逸話も交えながら講話され、私達も背筋をピンと伸ばして聞き入りました。

鎌田久子理事長は、私達は、天皇陛下に中心帰一して、「天の益人」として、「言霊」の咲き生う生命を大切にしていかなければならない。この美しい日本に悪い業を積み重ねさせる母体保護法を改正し、胎児保護法を新しく制定して、日本再生への原動力とするよう、光の発光体になりましょう。と講話されました。

この講演会へ来賓としていられて最初に挨拶頂いたのは、吉野和三鷹市議殿、丸山高司渋谷区議殿で4月の選挙のお忙しい中、お二人とも最後まで残られて熱心に受講して頂きました。心から感謝

致します。お二人とも再選されます事を心から祈念させて頂きます。

また、祝電を山谷えり子参議院議員殿より頂戴し披露させて頂きました。素晴らしい電文でした。誠にありがとうございます。又、江藤晟一参議院議員の秘書の柴田佳史様もお出で頂きました。

講演の後で、最初にご発表頂けなかった来賓の方に挨拶を頂きました。坪田陽子新教育者連盟元理事、奈良保男日本会議相模原支部長、村田春樹外国人参政権に反対する会東京代表、鈴木信行維新政党・新風代表に、それぞれの立場から生命尊重、日本再建へのご発表を頂きました。



新春特別講演会・講演要旨②

日本の誇りを取り戻そう

東京都議 古賀 俊昭

(日本独立宣言主幹の田口圭氏のブログを参考にさせて頂きました。)

昭和56年日野市議になって、最初に市長(共産党)に質問したのが、「母体(旧優

生)保護法」でした。『胎児を尊重するということ、見えないものの価値を認めるか否か』の問題なので、私はひまわりの種を持って、「これは生命ですか、単なる物質で

すか」と質問したら、市長は「生命だ」と答えました。そこから「胎児の生命の大切さ」を話しました。

昔は適齢期になったら早く嫁に行くというのが鉄則で、女子には「それではお嫁に行けないよ」と叱ったのですが、今ははしなくなった。晩婚化・非婚・少子化の問題もそこにあります。

「子宮頸がんワクチン」について、乱れた性交渉がなければ感染しないガンであり、ワクチンを打つことで性交渉をしても良いとの誤った情報を子供に与える事になる。他のワクチンは助成されていないのに、なぜ子宮頸がんワクチンだけなのか?。

テレビで芸能人などの「箸」の持ち方がひどい。ザビエルの後輩のルイス・フロイスは「日本人は3才で箸を使って食べる」とびっくりしました。日本の外科手術技術が世界で優れているのは、「箸」を使うことで、器用になっているからです。

安倍晋三元総理の教育基本法改正で武術が必須科目になりました。武士道の精神とは、①約束を守る。言い訳しない。②尊皇攘夷一です。

警視庁は国旗を「暴走族の象徴」として使用した。私は抗議し、来年からはしない事を確約させました。機動隊カレンダーで、左翼に反対する日の丸を持った人達を、取りしまりの対象であるかのような構図の写真を使用している事にも抗議中です。

(三ページ上段に続く)

(二) ページ後段より(続き)

沖縄県は、日本で最大の埋め立てを行ってきた県であり、基地に關してのみ埋め立て反対を言うのは筋違いです。また唯一の地上戦が行われた県だというのも正確ではありません。北方領土でも地上戦は行われてい

ます。二千円札の絵は「明の属国であつた象徴」の守札門で、沖縄の観光案内にも使われているがやめるべきです。しかし自民党は機関紙で、沖縄振興策として二千円札の活用方

新春特別講演会・挨拶要旨①

元・新教育者連盟理事 坪田 陽子

日本は今大変な危機の状態にあり、対応する事は山ほどあります。しかし、対応するには枝葉ではなく、根本を変えていかなければなりません。その根本は3つあります。一つ目は憲法。今の憲法を廃棄して、明治憲法に復元しなければなりません。

一つ目は教育。教育により今の日本の混乱があり、教科書を変えねばなりません。正しい良い教科書、自由社などから出ている教科書を、全国

法を公募していました。

私は「日本人入門」を訴えている。私達日本人はもつと日本人であるべきでJAPANではなく、NIPPONとすべきです。年表示は元号で、ローマ字の名前表記は「姓」「名」にすべきです。縦書きこそ国語表記だ。先の大戦は「大東亜戦争」です。日本の精神を教えるために正しい韻律・語彙・歴史がそのまま伝わる軍歌・唱歌を復活すべきです。こういう事を訴えています。★

きです。

議員さん達と、この事が分かっていて保守の私達が一緒になつて運動し、この三つを変えて行きたいと決意しています。「史」誌に載つていた記事で、オバマ大統領が天皇陛下を表敬訪問した時、天皇陛下に長く最敬礼をした事に関する記事がありました。その時の写真が米国で載るや米国民からは非難が巻き起りました。

しかし、オバマ大統領は本当に感謝していたのです。それは、米国では人種差別が大変激しかった。レストランへは入れなかった。白人とはすべて隔離されていた。バスも、トイレも何も

かも差別されていた。しかし、日本が大東亜戦争を戦つてくれたお蔭で、そういう人種差別は解消されました。オバマ大統領は本当に日本に感謝の意を表わしたかったのです。これと同じように、世界中の国々は日本を讃えて、感謝しています。左翼が日本を侮辱することを言っていますが、我々もつと力を出し、彼等の声を圧倒して、この正しい素晴らしい日本を再建して行きましょう。

新春特別講演会・挨拶要旨②

外国人参政権に反対する会代表 村田 春樹

鎌田先生の生命尊重「天使のほほえみ」と、私が微力ながらやつてきた外国人参政権の事は大変関係が強いのです。外国人参政権に反対すると必ず「人口が少なくなつて、

少子化で、だから日本は中国人はじめ外国人を入れなきゃだめだ。」と外国人や中国人はそう言っています。反日日本人もそう言っています。最後はそこに来るとも日本は本当に人口が減



らない努力をしますか。していません。

一つはまず『不妊治療』ですね。体外受精というのは一回に50万円位かかるんですよ。だから、子供は欲しいけどもお金がないと、続かなくて、不妊治療を止めてしまうご夫婦がたくさんいらつしやる。これは子供手当のわずか1%で全部無料ができるんですよ。

それから、先ほどから、日本はすばらしい国だ、神の国だと仰っています。私もその通りだと思ひますが、一番随胎がしやすい国なんです。私は非常に恥かしいです。どこが神の国なんだ、どこが素晴らしい国なんだ、と言われた時に返す言葉がありません。今、ヨーロッパではイスラム教徒の人口が増えてとても困っています。アメリカ大陸でも、白人よりもイスラムやヒスパニックの方が増えている。今に人口がひっくり返ると言われています。なぜですか。それは、イスラム教徒はセックスに關して宗教的な戒律がものすごく厳しいんです。(四ページ上段に続く)

「空を体で後段と接続する」と痛感した。結論を言おうとそう  
性の戒律が厳しいから、逆に  
人口増加への力がイスラム教徒  
の方がすごく強いんです。フリ  
ーセックスの国は人口が逆に減  
つちやうんです。アメリカの国  
民でさえもそう

新春特別講演会をお聞きして

愛書連代表

人は花である。花を産む生命  
である。

花を産み増やす、莊嚴なる生  
の果実である。

民人が伝へかみしむるべき豊  
穰（ほうじょう）にある。

いにしえのスクナヒコが齋  
（もたら）す稲作農耕の文明を  
うけついできた。

稲に咲く黄花の造形美をまね  
て、四季の神々に讃え、踊り、  
禱り、和歌へと結晶した。

まさに農耕が神事となりえたの  
である。

黄金色が富豊の象徴なのか、  
原初意識からその湿地帯に潤  
（ひろ）がる瑞穂の光景をみて  
きた。

生命潮流の渦まく薙（ながれ）  
の涯て、繊細な民族精神が象（か  
たどら）れてきた。晩近（ばん  
さん）、鎌田先生

いう事なんです。  
ですから、日本も人口を増や  
そうと思つたら、『思いっきり  
性的な戒律を厳しくすべき』で  
す。そうしないと人口は減る一  
方だと思ひます。★

天国 太平

の流麗な御譚（ごたん、おはな  
し）を伺うと、ありしひの憧憬  
を瞻（み）いだすようである。

聖母の祈り、国母の憂いをと  
も結実させた名壇である。

絆（あざや）かな直感像は上

新春特別講演会アンケートのまじり

・「日本の再生」を「いなほの  
白うさぎの皮ふの再生」と言われた  
のには、勇気づけられた。

「皇室」を戴く日本の稀有なる価  
値について、説明頂き有り難かつ  
た。

・古賀都議が30年前日野市長に、

「中絶について質問されていた事  
を知った。私は少子化による移民を  
防ぐためにも「中絶禁止」は必要で  
あると思ふ。日本の今後のため  
に、各人が

賓なプロ・ライフ、プロ・ゴット、  
プロ・ガンと福音派の如き奏稟たり  
うる。

実りというやや子を愛して花一  
人時盛りを輪廻し、嗜（たしな）ま  
れゆく感性である。 近來、光電子  
プラントで稲穂を交配させようと  
も、生命の象徴儀式はかわらぬ。

咲き誇れる魂は因果のかなた、人  
地に息吹く命つがれゆく来果にこ  
そある。

花は人である。  
花を愛でて、花を産み、花をいつ  
くしむ。

あまねき秋津の邦に産まれる花  
の子たちを幸せにする祈りでもあ  
る。★

「発光体」となる必要性があると痛感  
した。（以上、田口圭氏）★

天使のほほえみを知ったとき

埼玉原 吉川千代子

初めて「天使のほほえみ」運動を  
知った時、私は瞬間に「私達の年代  
がしっかりしていなかったから」と  
自責の念を覚えました。私達は戦時  
中女学生生活を送りました。

・古賀先生の事を初めて知った。骨  
のある真正保守の方が都議会にい  
らつしやるには、頼もしい限りだ。

「戦後教育は全て間違っていた」と  
の言葉が、心に刻まれた。

・お二方とも内容が素晴らしかった  
ので、お伺いしてよかった。私も古  
い人間なので、縦書きの方が楽だ。  
これからはできるだけ書類は縦書  
きにしよう。

・このような話をもっと若い世代に  
伝えていかれたら良いと思う。（学  
校訪問等）

・テレビで放映してほしい。また教  
育現場で中学生位の子供達に教え  
る場を作ってほしい。

・中絶件数を減らすために自治体が  
里親の斡旋をすべきだ。★

化のため人工中絶は「経済的理  
由」という歯止めのかかない理  
由で可能となりました。

日本は昔から子供を大切に、  
貧しくとも明るく育ててきまし  
た。それなのに前述の法律が出  
来るや「少なく産んで立派に育  
て、女も豊かに美しく」などの  
風潮が広まり、四人以上の子持  
ちは殆ど見当たらないようにな  
つてしまいました。また上手に  
身辺を整えるのが理想的生き方  
になつてしまいました。

それでも私達位までは、「夫  
婦で三人産めば義務が済む」な  
ど話題があつたようですが、  
いつの間にか「国家」とか「国  
民として」などという考えは薄  
らいでゆくのを感じられました

日本女性の生き方の転換期  
に在つたのが、今現在八十歳初  
期の我々ではなかったか、と思  
つた次第です。 日本女性特有  
の「婦道」とか、「生命への畏  
敬の念」とかが、かくもあつさ  
り忘れ去られた原因は何か？

「根源は教育にあり」気づい  
た者から声を大にして叫ばねば  
なりません。

皆で力を合わせて、この運動  
に取り組みましょう。★